

実践

「ごみステーションが消えたら ポイ捨ても消えた」

～西野第一町内会の取り組み

■環境大臣表彰は長年の 努力の成果

今年の十月、地域の生活環境改善の活動に長年取り組んできた功績がたたえられ、環境大臣表彰を受けた西野第一町内会。昭和四十二年の町内会設立時から活動に携わってきた前鼻会長は「自分の住むまちは自分たちできれいにするという信念で、一生懸命みんなで頑張ってきたおかげ」と控えめに話します。



▲手前左から前鼻町内会長、平尾衛生部長。奥側左から松井さん、土橋さん、岡崎副会長。松井さんと土橋さんは、町内会衛生部長の経験者。

町内会では環境美化活動のうち、ごみステーションの管理に力を入れています。「ここでは住民同士がごみ出しルールを守るよう呼び掛け合い、新しく引越して来た人には、ごみ収集日や分別方法などを、戸別訪問で説明して協力をお願いしています」と土橋さんは話します。「この活動には人と人とのつながりが大切」と話す岡崎副会長は、住民同士の意思疎通の必要性を説きます。

■「ごみステーションが消える？」

それでもごみステーションには、ルール違反のごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶ちません。町内会でルール違反の大型ごみを処分したところ、軽トラック一台分もあったそうです。そこで町内会は、幹線道路沿いにあったごみステーションを移動したり、外見上ごみステーションと分らないように目印看板を外し、地区の協力者が収集日の朝にネットを設置して収集が終わるとすぐにネットを片付けるなどの工夫をしています。この「消えるごみステーション」にしたところ、ルール違反のごみのポイ捨てが減ったそうです。今では、町内にある八十カ所のうち半数以上のごみステーションが「消える」ものになりました。

■住む人の心もまっちもきれいに

目標は「町内全体に『消えるごみステーション』の考え方を行きわたらせること」と話す平尾衛生部長。住民一人一人がまちを綺麗で汚さないことを意識して行動すれば、自然にまちも心もきれいな環境美化活動を続けます。

資源化

ごみを資源に変えよう！①紙ごみ

古紙の回収拠点～「古紙回収ボックス」と「エコボックス」

不要になった新聞（チラシ）・雑誌（書籍）・段ボールを、家庭から持ち込むことができます。

利用の際は「種類ごとにひもでしばる」「古紙以外は混ぜない」ことを守ってください。

●古紙回収ボックス

場所 西区役所（琴似2-7）の正面玄関横。

利用時間 平日午前8時45分～午後5時15分（年末年始を除く）。

●エコボックス（地域住民が主体で管理）

①八軒まちづくりセンター（八軒1西1）

利用時間 午前10時～午後7時（土・日・祝日も利用可。*年末年始を除く）。

②八軒中央まちづくりセンター（八軒6西2）

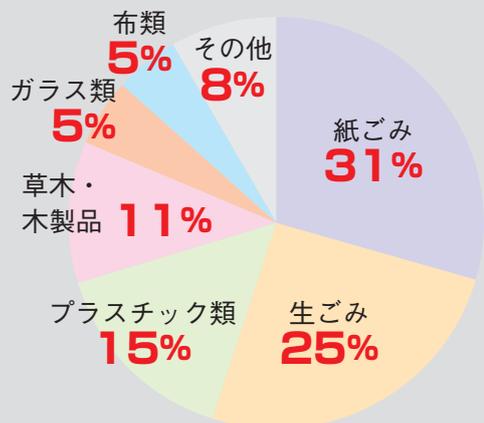
利用時間 午前9時～午後6時（土・日・祝日も利用可。*年末年始を除く）。

③発寒西会館（発寒6-12）

利用時間 平日午前9時～午後4時（*年末年始を除く）。事前に館内にいる「ことぶき会（管理団体）」の人に利用することを教えてください。

*年末年始＝12月29日（土）～1月3日（木）。

家庭ごみの重量比の内訳は、1位が紙ごみ、2位が生ごみです。



（平成18年度家庭系一般廃棄物組成調査より）

重量比の高い紙ごみと生ごみを減らすことが重要です。